

(令和6年)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人かおり会	代表者	本多朋仁	法人・事業所の特徴	医療法人会の運営により、サービス付き高齢者向け住宅と併設された建物で多機能な対応ができています。また事業所の自ら持てる機能と地域にある機能を合わせ、ご本人の暮らしを支援出来るように心掛けています。地域の方への発信と仲間作りを目的に、事業所でのイベントや地域交流の機会を作っています。
事業所名	メディケアさくら	施設長	澤田悦子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員のアイデアを出し合って、楽しい行事にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の皆さんの努力している姿勢は見て取れます。 ・自己評価については、立場や役職によって評価基準に差異が見られるようで、サービス評価について研修を行い共通した理解が必要だと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの方は自分の仕事を理解して努めている訳ですので可能な範囲で計画通りに実行されていると思います。 ・其々の職員さんは、自分の仕事に誇りを持って従事している訳ですので、一人一人の個性があり大変なことです努力次第だと思えます。 ・「いつまで、どのような方法で、どこまで出来たら良いのか」を明記しておいた方が評価もしやすいし分かりやすいと思えます。 	出来るだけ多くの職員が集まり、ミーティングの時間を取り情報共有ができるよう、業務内容や時間の取り方を工夫する。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内・外の環境整備を継続し来所された地域の方や、家族の方・利用者の方に季節を感じて頂けるように明るい環境づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・常日頃から感染症対策にも注意しなければならぬ中で、人の出入りは慎重に対応しておられ、いろいろ工夫し取り組んでおられる姿勢が伺えます。 ・事業所に伺った時も、嫌な思いや不快な臭いもなく訪問させて頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に設置されているインターホンが玄関に有りますが、別の事業所がある2階に繋がるインターホンである事を知りました。当事業所に直接つながるインターホンがあると便利かと思えます。 ・今年度の途中で新しく選任された委員でしたので、事業所の事がまだ良く解っていないので評価しにくかったです。 	開設して15年が経過し建物の各所の経年劣化が見られてきているため、必要な修繕や購入も検討しながら利用者にも不便を掛けないようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	天気の良い日は地域に出かけて行き季節を感じる。地域の方と一緒にイベントを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に事業所に訪問するわけではありませんが、伺ったときに嫌な感じはありません。 ・定期的に発行される「さくら新聞」などを拝見していると、利用者さんの様子や、地域住民さんと上手に交流されている様子が伺えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナも5類になり積極的に地域と関わろうと工夫され、地域の方との交流も再開されています。 ・10月には地域共同で、防災訓練やイベントも実施され地域の住民の方も沢山の方が参加された。 	感染対策にも留意し、以前のように地域の繋がりを大切にし、共同で「文化祭」や「防災訓練」を実施し事業所に対する理解を深めて頂くようにする。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>民生委員や区長さんを通して地域で心配な方と関わりを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなど、色々と計画を下さっていて、利用者の皆さんも楽しそうな顔を拝見させて頂いています。また、事業所に伺ったときには、職員さんだけでなく私を見て利用者の方も笑顔で挨拶を下さる方もおられ思わず嬉しくなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話を伺っていると、地域の方のお話が話題に出ていますので常に良い関わりを持っておられることが分かります。 ・本人の出来ることを生かせるよう配慮して、安心して生活が出来る取り組みを継続して行って欲しいと思います。 ・利用者の方も地域の方との交流を通して、事業所の中だけでの利用ではなく外に出られる企画が有ると良いと思います。 	<p>地域で行われているイベントを確認し、地域交流が持てる時期や内容を再検討し実施に向けて考える。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域の心配な方が居るときは関係者と情報を共有し問題解決に努めるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策を講じながら、可能な限り会議形式での運営推進会議の開催を望みます。その上で顔の見える意見交換が出来ると良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地域交流も再開でき、徐々に以前の暮らしが戻ってきているように思います。 	<p>事業所の様子が解る「さくら新聞」を地域にも発行し、地域の気になる課題が有れば、いつでも共有できるような繋がりを作る。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>災害を想定して、地域の防災担当者・住民と事業所が共同で取り組むことが出来るように訓練の提案を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の時と言うのは、高齢の利用者が一人で自由に行動できるわけではなく、また職員さんだけでは対応しきれない状況となる事から地域との連携はとても大切なことだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備品の備蓄の補充や、賞味期限の確認を行う必要がある。 ・BCPは法人で策定されている。机上訓練を通して、見直しやカンファレンスの必要性が有ると思います。 ・地域の防災協力員の把握や、協力体制の確認も今一度必要だと思います。 	<p>全職員に対してBCPの周知や訓練を通して、見直しを図り実際の現場に即したものとします。</p>